



- 1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について  
「心豊かでたくましい尾間木っ子の育成」～認め合い・学び合い・共に育つ～

**凡事徹底<笑顔 あいさつ・返事 きれいな学校>**

**「笑顔で下校」の対応 ～人が環境をつくり、環境が人を育てる～  
学びの改革の推進 コミュニティスクール開設への準備**

- (1) 全職員一丸となって取り組む学校課題研究の充実と授業力の向上
- (2) 明るく活気があり、安全で安心できる学校環境の充実
- (3) きれいな学校をめざし、みんなで取り組む清掃活動
- (4) 全校児童が心をひとつにする、教育活動の充実
- (5) 地域・保護者・近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくり

2 評価結果について

- (1) 全職員一丸となって取り組む学校課題研究の充実と授業力の向上

昨年度に引き続き、学校課題研究として教員一人ひとりが自ら選択した教科において研究を進め、研究授業の全員実施で指導力の向上を図った。また、保護者アンケート「学校ではわかりやすい授業を行っている」の「十分できている」と答えた保護者の数が伸びていた。(昨年度比+5.6P)「ほぼできている」とあわせるとほぼ9割に達している。また「先生の授業はわかりやすい」の「はい」「どちらかといえばはい」と答えた児童が95.8%で、わかりやすいと答えた児童が多数を占めている。その一方で、保護者「お子さんは学校の勉強が楽しいと言っている」(77.5%)「家庭学習に取り組んでいる」(75.5%)と他に比べ肯定の回答率が低くなっている。

- (2) 明るく活気があり、安全で安心できる学校環境の充実

今年度はデルタ株、オミクロン株の流行により学級・学年閉鎖はあったが、校内でのクラスター発生はなく、関係機関との連携・協議により速やかな収束を図ることができた。また、実施方法を工夫しながら避難訓練や書面による引渡訓練等、安全・安心な学校生活となるよう安全指導のさらなる徹底を図った。保護者アンケート「緊急時引渡訓練、安心メールの配信、防災防犯訓練等適切に実施し緊急時の対応がなされている」で「十分」「概ね」合わせて92.4%で、安心して通わせているとの回答を得ることができた。

- (3) きれいな学校をめざし、みんなで取り組む清掃活動

環境教育部の職員、美化委員会の児童が清掃用具の点検・整備等環境整備と美化意識の向上に努めた。清掃や、安全できれいな学習環境の整備に対しての肯定的な回答は、児童91.8%、保護者89.8%だった。

- (4) 全校児童が心をひとつにする、教育活動の充実

感染症拡大防止のため、学校行事等に制限があるが、学校が楽しいと感じている児童、楽しく学校生活を送っていると回答した保護者はともに9割を超え、児童が本校の教育活動に充実感をもつことができている。

- (5) 地域・保護者・近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくり

保護者アンケート「学校では、計画的に学校公開日を設定し、PTC作業、とちのこフェスティバル等家庭・地域社会と連携した教育を進めている」では、肯定的な回答が71.3%で、他の項目に比べ低くなっている。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

学校課題研究の充実と授業力の向上は、来年度の発表に向け、確実に成果をあげているところである。「学校の勉強が楽しい」という児童の育成と「家庭学習の推進」については、引き続き基礎学力の定着とICT機器を活用したGIGAスクール構想の推進に努めるとともに、ホームページや学校だより等で学校の取組を周知し、また自主学習の意義や学習方法の提示に一層努めていく。

地域・保護者。近隣学校等との信頼関係を基盤とする学校づくりについては、学校公開、地域行事の実施・参加が難しい状況が続いているが、地域教材の工夫・充実を図り、地域等との連携を図るとともに、月2回実施の学年リフレッシュデー(ノー残業デー)の実施等働き方改革を推進し、児童と向き合う時間の一層の確保にも努めることで信頼関係の構築を図っていきたい。